



The Y's Men's Club Of Kyoto-Capital

2007 3

Bulletin

2007. 3. 1. 発行
第24巻 第9号 通巻284号

(CLUB OFFICE)
京都 Y M C A
〒614-8501 京都市伏見区西本願寺
電話 (075) 231-4388

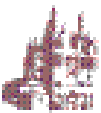
THE SWITZER CLUB OF THE WORLD
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

CHARTERED 28 Sep. 1903

クラブ主題 の関係! — 横並びの「和・輪・環」 —

国際主題	「愛をもって積極参加」	"Active Participation with Love"	IF 池田 博司	会長/大門 和彦 副会長/野本 純夫 専任員 一 書記/山田 英樹 会友/香山 章彦
アジア主題	「参画、そして感動を!」	"Participant and Inspiration"	AF 津島 敏夫	
西日本区主題	「一人はみんなのために、みんなは一人のために」	"One for all, all for one"	RD 木本 隆三 (代表)	
京都府主題	「百花繚乱 一京都部」		DG 土橋 雅二 (代表)	
イベント主題	「ファミリーで参加しよう フェイスダム 世界の愛が見えてくる」		SD 400 祥子 (代表)	



聖句 『私たちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して、わたしたちの罪を償うにえとして、御子をお遣わしになりました。ここに愛があります。』
(ヨハネの第一の手紙 第4章10節)



IBC、DBCを楽しく交流

交流事業委員長
森 常夫

今期は釜山で国際大会が開催され、私として香港について二度目の参加でした。国際大会の雰囲気と開催国のお国柄が少しは理解出来たと思います。現地でも東京クラブと楽しく交流できた事は意義のあるDBCだったと考えます。又釜山ベゼルクラブとの現地での交流では、韓国を知る絶好の機会であったと考えています。今後もIBC、DBCが発展していく事に微力ながら努力していきたいと思ひます。

さて今期交流委員会最大の行事が控えています。東京クラブより総勢24名の方が京都に来られます。4月7日(土)8日(日)の両日は皆さんにお手伝いをお願いしますのでよろしくお願い致します。

7日の合同例会(花見例会)を醍醐寺の雨月茶屋にて開催、8日の昼食は涉成園(枳殻邸)にてお別れ会を兼ねて開催します。DBCを理解する最大のチャンスです。

東京クラブのワイズ活動を生で聞き、知る事のできる機会です。雨月茶屋、涉成園で食事をしながら交流を深めてください。

キャピタルクラブと東京クラブのDBCは、東西両区で最初の締結で、西日本区及び東日本区の模範にもなっていると聞きます。今後も東京クラブと釜山クラブとの交流発展を期待いたします。

聖句の解説 私たち人間は、決して一人では生きられないのです。なぜなら人と共に生きるように生まれてきているからです。人と共に生きるとは、私たちが愛に生きているということです。私たちが愛によって生きているのです。私たちに愛が必要で、愛なしには生きていけません。しかし、私たちの愛は、自分が人から愛されることのみを中心に考えている愛ではないでしょうか。自分を痛めつけたり傷つけたり無視する人を愛せるでしょうか。憎しみや嫉みができますが愛することは出来ません。私たちが愛しているという愛は、条件付の愛なのです。ここに無条件で人を愛しておられる方がおられます。その方は自分を犠牲にしてまで人を愛しておられる方です。神の愛とは、このような愛です。私たちは、この愛を行って生きていくことが大切です。「互いに愛し合ひましょう」これが生きる道です。

西日本区 強調月間

3月 EF・JWF

ワイズライフから生まれる感謝をワイズ発展のため、勇気を出して捧げましょう。
横田 憲子 ファンド事業主任

2 月 報 告	 会員出席	 即ポイント	 ニコニコ	 ファンド	 献血	 125周年
	在籍者数 30名	切手 0g	第一例会 13,000円	その他 0円	献血 800cc	第一例会 0円
	第一例会 25名	現金 0円	第二例会 7,000円		成分 1名	第二例会 6,884円
	第二例会 26名	累計切手 11,244g	累計 150,000円	累計 733,736円	累計 800cc	累計 104,804円
	出席率 93.3%	累計現金 0円			成分累計 1名	
	JWF 0円					
	JWF累計 10,000円					
	FF累計 0円					

出席第一・時間厳守・寝睡・華生・古切手収集

2月第一例会

2007年2月6日(火)
於 ウェスティン都ホテル京都

公教育の再生は社会総がかりの 「共汗」から — 門川教育長講演

幡南 進



門川京都教育長

例会は、大門会長の「勉強よりもっとすばらしいもの」という37歳のお母さんの論文から始まりました。

とても心を打つ内容で「最近はそのような人間的な教育を目にしなくなったな〜」っと、思いも冷めないうちに門川大作京都教育長の講演を聞くことが出来ました。

「共汗」という言葉からも良く伝わる〜当事者の意識・参画・評価・公開・そして汗をかくこと〜。非常に目的意識のはっきりとした、教育についてのお話を頂きました。

「いじめ」に対しての問題では、教育の格差を作らない。その為の初等中等教育を中心としたゆとり教育の廃止、学力の向上。従来の「君が代・日の丸」のイデオロギー体質の改善が優先である、というお話で、教師と学校の意識改革、自己改革、

親と子供のために何が出来るのかということを実践に取り組んでいく、という方向性を仰られました。

その中でも京都の教育への取り組みが全国でもトップレベルであると言う事には驚きました。

現樹本市長が教育長時代から、地域で学んだことと学校で学んだことが一致しない、という問題点を関係者のモチベーションを落す事無く信頼関係を築き上げ、取り組んでいけたことが大きな成果につながったそうです。結果として現在、公立高校生が現役で国公立大学に進学する率が、日本一だそうです。

今回門川教育長のお話を、クラブのメンバーの全員が、自分の事のように真剣に聞き入っていた姿が印象的でした。それだけ誰しもが今の教育に関して、大きな関心を持っている、ということの現れでしょうか。

私ももっとも興味を持ったお話は、最後に言われた、「うさぎとカメ」です。

競走のときお互いに何を見ていたか。ウサギはカメを見ていた。カメは目標を見ていた。素直に心に入ってくる、分かりやすい言葉でした。

自分自身も、京都在住の一市民として地域住民との関わりを大切に出来ることをやっていけたらと、思いました。

2月第二例会

2007年2月20日(火)
於 ウェスティン都ホテル京都

TOFアワー

深刻なエイズの実態

岡本 尚男

冒頭、会長挨拶では現在行われている、野球のキャンプはどのような世界かという興味深い話があった。約50名でスタートして、一軍に残れるのは28名とのことである。そのプロセスは、2〜3月のうちに10名程が落とされ、オープン戦が最後の勝負である。生き残りを欠けた激しい勝負の世界は非情なまでのストイックなものである。それに比べると、ワイズの世界は思いやりで満ちた、自分らしい生き方が認められる世界であり、精神性の高い教えに学ぶことで、自分を客観的に眺める機会に恵まれている。バランス感覚のとれた人間に成長できる可能性があるのがワイズの世界である、としめくくられた。

委員会報告では、交流委員会からは、東京クラブから24名の参加者がり盛会が期待できる。YMCA サービス委員会からは、配布された YMCA ニュースにある行事に積極的な参加のアピール。ファンド委員会からは、予定されていた3月の懇親一泊ツアーは参加者が少ないので中止となった。書記からは、京都部のホームページを会社や個人で立ち上げているホームページへのリンク、ベクセルクラブ10周年祝会への参加要請があった。

メインスピーカーの、石倉尚西日本区地域奉仕主任からは TOF、CS 資金、FF 事業の詳細な報告があった。TOF 資金が人道的支援として、1年間に18万ドルが支出され世界統一事業のエイズ撲滅に使われていることが目を引いた。国際から発行されているブリテンや区報にも詳細が掲載されるので、メン

バーは必見である。

子クラブのトップスクラブから出席の、加藤隆司京都部地域奉仕主査からは、エイズの現況について具体的な数字をげて、如何に深刻な状況かが語られた。世界では世界統一事業



石倉西日本区
地域奉仕事業主任



加藤京都部地域
奉仕事業主査

として5年間にわたる HIV への支援の2年目に入っている。これは世界中にワイズの知名度を上げる事業としての狙いもあり、国際連盟からも認められている事業となっている。患者数は3,860万人、毎年約280万人が死亡し新たな感染者が400万人とのことである。母子感染による HIV 感染乳児は悲惨の一語に尽きる。日本は先進7カ国のなかでもトップの感染率で、現在は12,000人とされているが、検査結果で判明している人たちであって、推定では6倍ぐらいの感染者がいると推定される。京都は2006年に20人の患者が確認されているが2004年は10人であったことを思うと倍になっている。同性愛者の性交渉、血液製剤からの感染が主たる原因とのことである。エイズウイルスは環境破壊によって、猿の世界にあるSIVの遺伝子の変形が HIV であるとのことであった。人間の横暴さによる凄まじいまでの環境破壊が動物の世界を破壊し、人間と接触するようになった動物から感染したと考えられているようだ。よく勉強された話であった。

香山さんが、盲腸をこじらせて腹膜炎になりかけていたが、腹腔鏡による手術で無事に健康を取り戻したことが、ニコニコで報告された。何はともあれ健康でいることの大切さを感じさせられた例会であった。



バイオリンとの出会い

勝山 廣一郎

私が、小学校入学前だったと記憶しているが、太平洋戦争（1941～1945）終結後の混乱の時、父の仕事も不安定な時期、ある日、母が古道具店より子供用のバイオリンを購入、生まれて初めての西洋楽器の感触で深く感動を受けました。

母の口癖で「音楽の趣味を持つ事は貴方の人生にとってすばらしい宝になる」と子供の頃よりいつも聞かされていました。そして、近くの教会に行き手ほどきを受ける事になりました。

その後、父の仕事も転々とし、成功しかかっては失敗を繰り返し、多額の借金を抱える状況となり、父の本来の織物染色整理業として再出発しました。

ちょうど小学校から中学校へ進む頃と同時期、私も手伝う事となり、その数年間、音楽の方は一時中断しました。

高校へ進学、昼は仕事、夜は学校へ通う日々、あるきっかけで同級生と軽音楽部を結成する事になり（西洋の音楽に飢えていた時代）、再び音楽に出会う機会を得ました。

高校卒業近くになって、叔父の知人で、元プロのミュージシャンの、歯科医師の先生を紹介して頂き、その出会いは、私の人生にとって大きな影響を受ける「きっかけ」となりました。

音楽の基本である、リズム、ハーモニー、メロディー、等々を厳しく教えて頂きました。その後、数十年の年月が経ち、現在は気の合う仲間とバンドを結成し、月一度のライブを行い、又、定年後の人達とボランティア活動をしています。

今は亡き母に「バイオリンとの出会い」を与えてくれたことを、いつも感謝をしています。

家族で刻む名シーン!!

岡村 直人

私には愛する可愛い子供達が3人います。私の宝物です。子供の成長が、楽しみでなりません!!

長女 茜 小学6年生、最近父親離れが目立ち始め、パパは少々寂しい気分。

自分の意思で中学受験をめざし、頑張っで塾通い、はらはらさせられましたが、進学が決まりました。やれやれです。

少々気が強いのが玉にきず。本人いわく気がつきにくいと今の小学生は、やってられないとの事。将来の夢はキャピテンダント。

長男 健太 小学4年生、キャピタル通称名ゴン太、名付け親は石倉さん!!

特技は給食の大食い、早食い。毎週土日は、地元の少年野球チームで大暴れ? 週1回野球塾にも通っています。

クラスで一番大きいのに、なぜか机はいつも先生の目の前の席、家庭訪問でもないのに先生がよく我が家へやってきます。

ママはいつも謝ってばかり...でも本当は心の優しい、いいヤツなんですよ!!。将来の夢はプロ野球選手。

次女 胡桃 4歳 我が家のアイドル。明るくのびのび成長しています。最近読み書きが出来るようになり、すごく楽しそうです。

毎朝、保育園では、鼻水たらしながら裸マラソンをやっています。めちゃくちゃ可愛くて仕方ありません!! 毎日寝顔にチューして

ます。将来の夢は、プリキュアになる事、なんじゃそれは...

最後に忘れてはならないのは、その可愛い子供達を産んでくれた、妻 38歳 身長170センチ 体重、公表できません!!

静岡から、右も左もわからない京都に嫁いできてくれました。家事、子育て、仕事の手伝いと大車輪の活躍。感謝しています。

一番やっかいなのは、大きい子供の世話、そうです私の事です。今後気をつけます。

今までも色々と家族で泣いたり笑ったり名シーンを作ってきましたが、今後も家族5人で仲良く人生の名シーンを、作り続けて行きたいと思っております。

京都部メネット合同例会

正子・ダルマパーラン

2月24日 YMCA 三条本館にて表記の集いが持たれました。西日本区メネット事業主任松田洋子様の今期事業の一環である日本語学校留学生への支援プログラムを基に5人の中国からの留学生の皆様が日本語でスピーチを披露され嬉しい事、悲しい事、感謝、世界の中の日本、等々短い留学期間にも拘らず流暢に時々たどたどしく語られました。

参加されたメン・メネット阿部主事たちは、心から出る言葉に、親心で聞き入っておりました。



敬語や丁寧語の使い方には迷いがあり、和まされました。本来の日本の姿をよく見て将来自国との架け橋になってもらいたいものです。

上海出身のニコの名手沈佳さんが「競馬」、広州の

「春遊太郎」春になったら広州に行こうねといった曲を披露され、思わぬおまけ!!

赤松事業主査とメネット手作りの花カードを頂いて散会となりました。

その後、キャピタルの皆さんとでお茶をいただきながら、もっとメネットが集まれる機会を作ろう、メネット会の規定等、実りある5時間でした。

参加メネット 内廣、岡本、勝山、竹田、仁科、山口、柳、ダルマメネットです。

京都部ワイズデー

STOP HIV / AIDS ワークショップ

竹田 博和

早くも春の便りが届く2月18日、京都 YMCA マナホールで京都部ワイズデーの行事として [STOP HEV / AIDS ワークショップ] が開催されました。

一部はリーディング。三人の方が HIV 陽性の方やゲイの方の手記を読み上げ、その感想を述べられました。その後京都第

一日赤の大野藍子医師より HIV に関する講演がありました。先進国で唯一 HIV 感染者が増加している日本は今後5年間で感染者が5倍になるであろうとのことでした。HIVは無症状だが感染力がある時期が長く続くということ、日本は医療体制は世界トップレベルだが予防啓発が立ち後れていることなどを講演されました。

その後、8～9人のグループに分かれてワークショップが行われました。我々中高年には口に出すのも憚られる様な話題でしたが、結構熱のこもった意見交換が出来たと思います。

出席者 石倉・神崎・田中(雅)・柳・山口・柳早知子
仁科節子・竹田

京都YMCA創立118年記念会員集会報告

日時 2月23日19時～21時

場所 京都YMCA マナホール

岡本 尚男

いま、社会で進められている構造改革路線の一環として、政府が進めている公益法人制度が改正され、2008年度から施行される。5年の猶予期間があるとはいえ新しい公益財団法人の認定に向けた、具体的な取組みが京都でも始まっている。

その内容は、法律が度のようになるかによって定かでない部分があるが、出来る限りの勉強をしようと企画された記念集会となった。

講師は、井筒洋一 特定公益増進法人日本YMCA 同盟主任主事による、「近未来の京都YMCA ― 公益法人制度がかわります」の講演であった。詳細な資料により限られた時間ではあったが、参加者には取組まなければならない事業であることと、京都の置かれている現状が少しは理解できたと思う。

一般財団法人と公益財団法人の違い、非営利事業とされる内容、民法34条との整合性、課税と非課税との違い、定款の問題、評議員会と理事会のあり方とそれぞれの責任と権限の問題、社団と財団の違いなどが語られた。

公益等認定委員会に「公益財団法人」として認められる条件のひとつに、収入の50%以上が寄付によって賄われていることが、公益性のある団体と認められる大きな要素であるとのことであった。

京都YMCAの寄付による収入は数パーセントである。今後の課題となるだろうし、京都YMCAにとって、今年がターニングポイントになると思いつつ家路についた。

出席 竹田博和 山口弘子 岡本尚男 岡本 都

3月・4月予定抄

- 3月11日(日) 2006年度卒業生リーダー祝会
- 3月17日～18日 西日本区次期会長・主査研修会(OMMビル)
- 4月7日(土) 東京クラブDBC合同例会 18:00
- 4月22日(日) リトリートセンター夜桜フェスタ

HAPPY BIRTHDAY

メンバー

香山 章治 3. 11 勝山廣一郎 3. 23
岡本 尚男 3. 31

メネット

森 絹代 3. 3 香山 慶子 3. 16

コメント

竹田 睦子 3. 31

HAPPY ANNIVERSARY

金原 弘明・康 代 ご夫妻 3. 5
山田 英樹・とも子 ご夫妻 3. 20
竹田 博和・倫子 ご夫妻 3. 25
大山 孜郎・悠子 ご夫妻 3. 31

第11回 役員会議事録

2007年2月27日(火)19:00～21:00
ウエスティン都ホテル京都 竹の間

<報告事項>

西日本区

- 次年度における次次期理事の推薦について
- 2月28日(水) 後期区費納入期限 納入済み
- 3月4日(日) 彦根シャトークラブ25周年記念例会 彦根プリンスホテル 受付13:30～ 岡本、石倉参加予定
- 3月17(土)～18(日) 西日本区次期会長・主査研修会(OMMビル)
- 3月30日(金) CS、TOF、FF、BF 各献金納入〆切。EMC ブースター賞基準〆切
- 3月24日(土) 奈良 傳賞受賞該当者推薦のお願い
- 6月9～10日 西日本区大会

京都部

- 京都部次次期部長 京都ウイングクラブ 藤田寿男さんが選任されました
- 2月28日(水) 後期部費納入期限 納入済
- 京都部のHPを各メンバーの会社のHPへリンクのお願い
- 5月18日(金) 現・次期メネット会長・連絡員会

Y M C A

- 2月23日(金) 京都YMCA 創立118年記念会員集会 19:00～21:00 京都YMCA 三条本館マナホール
- 2月24日(土) 「ワイズ感謝デー」YMCA 東山荘 参加費 6,000円 募集定員200名
- 2月24日(土) 京都部合同メネット会
- 3月11日(日) 2006年度卒業生リーダー祝会
- 4月22日(日) リトリートセンター夜桜フェスタ
- 5月20日(日) インターナショナルチャリティーラン

三 役

- 事後報告 東京クラブの河田弘様が逝去 - 当クラブから献花をさせて頂きました(21,210円)
- 他クラブ周年事業参加のお祝い 大阪なかのしまクラブ10,000円
- CATT 合同例会 2007年5月10日

<各事業委員会報告>

- Yサ・ユース 6月までの主な行事に関して
- 地域奉仕 CS、FF ポイント、TOF 例会、ワイズデー、新サポート先の件
- ドライバー 月例会予定
- 広報ブリテン 3月号予定
- ファンド ファンド旅行中止、代替企画に関して
- 交流 東京クラブDBCに関して
- E M C EMC集計、例会出席状況

<審議事項>

- 堀さん休会の件 山田書記より経緯説明 承認
- 卒業リーダーのための支援金拠出の件 会長報告
- 東京クラブ河田様逝去にともなう献花 承認
- 他クラブ周年事業参加 祝金拠出の件 彦根シャトー 承認
- リトセン補修工事費の件 承認
- 釜山ベゼルクラブ、光州ベゼルクラブDBC締結お祝い金拠出10,000円の件 承認
- 奈良 傳賞推薦の件 来期への申し送り事項とする 会長報告
- 花見例会の開始時間を18:00に変更する件 承認

次期委員長発表

- Yサ 瀬本、地域奉仕 仁科、
 - ドライバー 山田(英)、広報 八木、
 - ファンド 幡南、交流 岡本、
 - EMC 石倉、メネ 山田まゆみ
- 次期会長より報告

